

令和8年3月10日

足立区立栗島中学校  
校長 小山 節 様

足立区立栗島中学校 開かれた学校づくり協議会

## 令和7年度 学校関係者評価書

### 1 自己評価書（学校経営計画・自己評価書）全般について

今年度は入学式や卒業式の参列、行事の参観や日頃の授業が参観できるようになり、学校との連携を図ることができた。栗島中学校の生徒の姿や日頃の教育活動と行事から、生徒と教職員が一丸となって取り組むすばらしさを感じることができた。

栗島中学校では、地域や保護者が求める、少人数を生かした個別の支援が行き届いている。協議会委員や地域から、栗島中学校の生徒が元気に挨拶できること等、生徒の地域での様子に評価の声が非常に多くある。また不登校生徒の数も減少傾向にある。これは栗島中学校の先生方の教育活動が実を結んでいる結果だと捉えている。

一方で、生徒の学校生活意識アンケートの結果から、「学校に行くのが楽しい」と回答した生徒が9割を超えているのに比べ、「学校の授業はどの程度わかりますか」の問いに対して、肯定的な回答の生徒の割合が少ない。先生方の授業の工夫等により、生徒の学習意欲は少しずつ向上していると聞いているが、さらなる学力向上を期待したい。

栗島中学校の伝統として取り組んでいる「立志の時間（総合的な学習の時間）」において、自ら考え、調べ、まとめて発表する力を育む活動を通して、学習発表会のみならず、高校受験の面接等でも力を発揮し、輝かしい結果を残している。これは継続的かつ計画的に取り組んできた成果であると考えている。また今年度は栗島小学校との小中連携にも力を入れ、9年間を見通した教育を進める研修会を行い、常に生徒のために研鑽を積み、子ども達を地域で育てると意識の高さが感じられる。

### 2 学校から提示された「課題」や「保護者・地域への期待」について

教職員が入れ替わっても、これまでの栗島中学校の良さを教職員が理解して踏襲していることがわかる。今後はそれだけに留まらず、さらに良くしていく取組を期待する。また、新入生予定数は減少したが、その分少人数を生かした栗島中学校の魅力である、個別指導を充実させていくことをお願いしたい。保護者の授業公開への参加がまだまだ少ないと聞いているので、PTAと開かれた学校づくり協議会との連携も来年度は検討していきたい。

### 3 その他

今年度は栗島中学校のボランティア部を中心に、地域と学校が連携した取組を実現することができた。避難所運営訓練や中央地区スポーツ大会やボッチャ大会等、栗島中学校の生徒・教職員が積極的に運営に携わった。学校とともに、地域の活性化を図る取組ができたことは非常に大きい。